



北海道大野記念病院  
ANNUAL REPORT 2017 創刊にあたって

病院長 大野 猛三

平素より北海道大野記念病院にご支援・ご鞭撻を賜りまして、誠にありがとうございます。北海道大野記念病院 ANNUAL REPORT 2017 創刊にあたり、ご挨拶申し上げます。

昭和 62 年、札幌市西区西野に「心臓血管センター北海道大野病院」を開院して以来、30 年間心臓血管センターとしての役割を担ってまいりましたが、札幌市西区宮の沢に 2016 年 10 月 15 日に新築移転し、がん、心臓疾患、脳疾患の「三大疾病」と運動器疾患を中心とした急性期医療を展開していく病院として、新たなスタートを切りました。

新病院では、最先端の医学的叡智と高機能な医療機器を駆使し、患者様に優しく、より安全で苦痛の少ない医療の提供を目指すとともに、地域の救急医療に貢献していきたいと思っております。

また、未来の医療人の育成と次世代への継承を目指してまいります。

今後、2025 年にはいわゆる団塊の世代が全て後期高齢者となり、2040 年には団塊ジュニア世代が 65 歳以上の高齢者となる等、人口の高齢化が急速に進展する中で、安全で安心な質の高い医療を受けられるようにするために、当院としては、地域から期待される担うべき役割・医療機能を発揮し、かつ、医療と介護を含めた切れ目のない地域との連携を積極的に取組み、地域から信頼される病院を目指してまいります。

今回の ANNUAL REPORT 2017 創刊を持って、北海道大野記念病院の医療機能をご理解賜り、これからの当院のあるべき姿を感じていただければ幸いです。

今後とも皆様のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。